



©Ai Ueda/JTU

Yokohama Children Sports Foundation

横浜こどもスポーツ基金 普及・啓発事業 実施レポート

実施場所：2013 世界トライアスロンシリーズ横浜大会

実施期間：2013年5月11日(土)～12日(日)

- 実施内容：① 大会グッズを活用した基金の普及・啓発
② 大会会場における基金の普及・啓発
③ 関係者への周知活動 ほか

2 大会グッズには「基金の思い・願い」を記載した「タグ」をつけました。



このアイテムを身につけて、スポーツを愛する多くの人たちへ、「横浜こどもスポーツ基金」を一緒にひろめていただければと思います。



「横浜こどもスポーツ基金」は、障害を持つ子どもたちや、思えない子どもたちが「スポーツ」を通して、夢と希望を持って育ち、身近な地域でスポーツ活動に参加できる取組を行うことを目的に創設されました。この「横浜こどもスポーツ基金」は、「横浜トライアスロン」をきっかけに、ジョンソン株式会社の支援で誕生しました。

ジョンソン社からのメッセージ

ジョンソン株式会社は、社会貢献活動にも力を入れております。このたび「横浜こどもスポーツ基金」を創設できたことを大変嬉しく思います。未来ある子どもたちのために、是非ご協力をいただければ幸いです。



このイラストは、この活動に賛同いただいたトライアスロンの上田選手に描いていただきました。

1 大会グッズに、「横浜こどもスポーツ基金」のイラストを掲載し、選手・ボランティア等、関係者に配布しました。

Tシャツ配布の様様



Tシャツは、選手(エリート・エイジ・パラトライアスロン全選手)に配布。



説明会会場にて、1人ひとりに手渡ししました。



イラストを描いた上田選手とエマ・モファット選手(AUS)が記念撮影。

大会グッズの一例



ポロシャツ(オフィシャルスタッフ用)



Tシャツ(スタッフ用) / ネイビー



Tシャツ(ボランティアスタッフ用) / 白



キャップ / ネイビー



マフラータオル(完走者用)

会場の模様



オレンジのTシャツは「ハンドラー」と呼ばれるパラ選手のサポーター。



ボランティアは白のTシャツを着用し大会をサポート。



早速、表彰式で着用いただきました。



完走の証、フィニッシャータオル。

3 トライアスロンEXPO会場において、グッズの説明を目的とした展示を実施しました。



展示期間：2013年5月11日(土)・12日(日)

展示場所：山下公園トライアスロン特設会場・EXPO会場



4 関係者へ「横浜こどもスポーツ基金」の説明を実施しました。



5 「横浜こどもスポーツ基金」設立の記者会見を実施しました。



日時：2013年5月7日(火) 13:50～14:05
場所：横浜市庁舎2階市長応接室